



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



昨日は卒業式！今日は修了式!!令和3年度、感謝を込めて。

— Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) —

昨日は、令和3年度卒業証書授与式でした。前日までの雨は上がり、朝から太陽が顔を見せてくれました。覗かせる一日となりました。卒業生16名は、元気に巣立っていきました。5年生、4年生も在校生の代表として、その役割、仕事を全うしてくれました。大変、立派で嬉しく思います。卒業式の式辞で「**過てば、則ち、改むるに、憚ること勿れ**」という言葉を紹介しました。人は、どんなに注意をしても、どんなに気を付けていても、失敗をするものです。そんな時、あれこれ理由を付けて、繕っても、決して、よいことはありません。過ちに気付けば、改めるということが大切なことです。ただ、間違いを認め、改めることが正しいと分かっている、それができない、行動に移せないということはよくあることです。それは、失敗が、恥ずかしいこと、だめなことだと考えるからです。でも、失敗は、恥ずかしいこと、だめなことなのでしょうか。それは、違います。失敗は、その人を成長させるものなのです。だから、失敗を怖がってはいけません。どんどん失敗をしよう。決して、失敗を恐れるな！そう話しました。卒業生には、中学校という新しい舞台で思う存分、その力を発揮して欲しいと願っています。今までとは違った環境が待っています。それは、人であり、物であり、時間の流れ方であり、多くのことが違っているのだと思います。決して見通しのいい道ばかりではないでしょう。直線もあれば、カーブもあります。行き止まりもあれば、一方通行もあります。そんな時、不安で足が竦む、動けないなんてことがあるかもしれません。でも、失敗を恐れ、手を拱いていても何も始まりません。一步を踏み出し、行動を起こすこと、動き出すことです。そして、違うなと思ったら、方向を変

えてみる、別な方法を考える、即、改める、このことに躊躇はいりません。やり直せばいいのです。世の中には、答えがはっきりしないことは、いくらでもあります。多様な視点から、よりよい解を見つけていく、そんな柔軟さ、しなやかさがこれからは益々必要なのだと考えます。卒業式にあたりそのようなことを考えました。

今日は、令和3年度修了式です。中番小学校の1年生から5年生の皆さんは、この一年間、本当によく頑張りました。今日いただいた学年の修了証は皆さんの頑張った証です。学年の終了証授与、おめでとう。但し、その陰には、この一年間、皆さんを支えてくださったお母さん、お父さん、家族の皆さん、地域の皆さん、日々、皆さんの学びを支えてくださった担任の先生方、他にも、直接目には見えないけれど、分からないけれど、皆さんは、多くの方々に支えられて今日があるのです。その人たちへの感謝の気持ちを決して忘れていけません。今日、家に帰ったら、お家の人に、「1年間、無事に終えることができました。お母さん、お父さん、ありがとうございました。」と伝えること。

さあ、明日から春休みです。春休みの目標は、①リフレッシュそして、リセットすること、②エネルギーを充填してくること、③新学年の心と体を準備し、4月7日に、全員、元気に学校に来ること。そして、ここにいるみんなで、4月8日に入学してくる新1年生と一緒に、新しい中番小学校の令和4年度物語を作っていきます。

令和3年度、保護者の皆様には、本校教育の推進に、深いご理解とあたたかいご支援とご協力を平素より賜りましたこと、深く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症に関する対策においては、どんなに心配で不安な状況下にあっても、学校と一緒にあって共に支え合い、ご対応いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。保護者の皆様、地域の皆様のお力添え、応援なくして、この令和3年度を乗り切ることができなかったと思っています。一年間、本当にありがとうございました。